

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3390101560		
法人名	医療法人 たくふう会		
事業所名	グループホーム津島の里		
所在地	岡山市北区津島京町1丁目5-18		
自己評価作成日	平成27年7月12日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利法人 高齢者・障がい者生活支援センター		
所在地	岡山市北区津高628-1		
訪問調査日	平成27年11月6日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・運営母体が医療法人であり、クリニックの医師・看護師と24時間連携体制により安心してグループホームでの生活を継続していただけます。また、ご希望により看取りまでの介護を実施させていただきます。 ・季節の行事や散歩、ドライブなど日々を楽しんでいただけるように工夫を行っています。 ・身体の不自由な方にもご入浴いただけるように特殊浴槽もあります。 ・岡山駅・岡山インターからも近く、遠方からのご面会も便利です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>入居者の人権を尊重し、自立した日常生活を大切にした支援に努め、福祉、医療(24時間対応)の充実と地域に溶け込んだグループホームとして日々取り組んでいます。入居者、家族、職員が共に支え合い、相互理解を深めながらサービスの向上に努めています。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者の方がその人らしく生活できるように買い物などの外出など行えるように工夫している	理念を目線の高さに掲示し毎日確認しながら日々、実践に活かすよう努めています。	これからも理念の共有と理解に努めサービスの向上に活かしていられる事を期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方には毎回、運営推進会議に参加していただきご意見や助言をいただき、地域の一員として町内の行事に参加できるように努めています	地域との相互交流を積極的に深め徐々に町内会の一員として(夏の盆踊り、秋祭り、クリーン作成などに)参加、又、日常的交流にも努めています。	グループホームの行事を通して、学生やボランティア、地域の方々に声かけし交流の機会を持たれることを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現段階では地域の方々に向けての発信はおこなえていませんが、今後の運営推進会議などを通して地域貢献していけるように準備をしています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族・地域の方からご意見をいただき、真摯に取り組むようにしています	2ヶ月に1回開催し(家族多数、民生委員、町内会長、地域包括支援センターの参加)。現在、取り組んでいる現状報告、避難訓練、災害時対策など話し合い、サービス向上に反映させています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議にご参加くださった際に実情・取り組みをお伝えし協力をお願いしています	福祉事務所が近い事もありよく出向き、入居者の状況報告や相談等行っています。色々な情報も伝えて貰い協力関係が築かれています。(認知症研修、感染症、インフルエンザ)	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に研修を実施し、職員一丸となって身体拘束を行わないケアに取り組んでいます	研修を行い(合同研修へ参加)、統一した拘束しないケアの正しい理解をもって日々支援に取り組んでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修を実施するだけでなく、事例検討や接遇などについての話し合いを持ち防止に努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今後、研修を行っていく予定です。新規での活用はありません		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明時、疑問などはないかを確認しご理解・納得頂けるようにしています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	“ご意見箱”を施設内に設置しています。また、運営推進会議や面会時にご要望をお聞きし職員で共有反映させています	入居者とのコミュニケーションを十分に図り、意向を把握。運営推進会議へ家族多数の参加があり面会することによって意見や要望を聞きそれを反映するよう努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回の全体でのカンファレンス実施、年2回の個人面談の他、普段から職員の意見・提案が吸収反映できるようにしています	カンファレンスの話し合いでは活発な意見もあります。代表者はしっかりと提案事項を傾聴し、随時可能な限り迅速に対応し、要望（職員増員や食材の買い物など）は検討し反映させています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況を把握し、職員が働きやすい環境となるよう努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	仕事を通して助言したり、法人内の研修・外部研修の案内を周知するなどスキルアップができるように工夫しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修などの参加を通し同業者との交流を持ちサービスの質が向上していけるように努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所者との信頼関係が構築できるように情報収集に努め、申し送りやカンファレンスで全職員が情報を共有できるようにしています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族のご要望を伺い信頼関係が気づけるように密に連絡を取るようになっています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族、ソーシャルワーカーからのお問い合わせを多くいただき話し合いに努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の家事を一緒に行うなどご本人の生活の場となるように努めています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との連絡をこまめに行い、自由な面会(夜間帯を除く)に配慮し、家族との外出も行ってもらっています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の協力を得ての馴染みの場所への外出、行きつけだった美容師の訪問や知人の面会など支援に努めています	家族とよく一緒に馴染みの場所へ外出、妹さんと一緒に歯科受診、以前行きつけていた美容師の訪問、知人の面会、途切れることなく支援がなされています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方と共同で作業をお願いしたり、周囲と関わりが持てるように橋渡しや孤立しないように声掛けを行っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去(死去)から1年以上が経過し、現在は連絡が行えていません		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの中で意向や希望の確認に努めています。困難な場合にはご本人が安心して生活が送れるようにカンファレンスで話し合っています	今までの生活習慣を大切に日常会話の中で職員は「見る目、聞く耳、気づき、声掛け」入居者が求める事を把握し家族からも聞き取り、その人らしい暮らしが出来る支援に努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人・ご家族との会話からこれまでの生活歴や生活環境などをお聴きしています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の心身状態だけでなく、認知・身体能力などの把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス時に各人について検討を行っています。プラン作成に際しては、ご本人・ご家族の意向なども確認したうえで現状に即したプランの作成につとめています	定期的に医師、看護師、本人、家族からの返信シートなどを参考に介護記録、申し送りノートを活用しながらモニタリング、カンファレンスを実施し現状に即した介護計画に努めています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、申し送りノート、カンファレンスでの検討を通して情報共有を行い計画の見直しに活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・ご本人の状態・意向やご家族の意向に沿えるようにサービスを提供しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物に同行するなど地域の中で生活を楽しむことができるように支援しています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医師の訪問診療の他、母体法人の医師・看護師との24時間連携体制により適切な医療が受けられるようにしています	医師の訪問診療(週1回)かかりつけ医の受診支援、母体法人の医師、看護師との24時間の連携体制により安心して医療が受けられる様支援しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携ノートの活用の他、24時間の連携体制によりすぐに相談できるようにしています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の情報提供の他、入院中も病院関係者と情報交換を行うように努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入居時に説明と同意を得て、状況によりその都度医師からの説明を行い、関係者でカンファレンスを実施し終末期の対応をおこなっています	看取りを希望される入居者には、説明と同意を得て段階的に医師の説明を行い、本人、家族と思いをしっかりと話し合い対応する様取り組んでいます。	これからも重度化・終末期ケアについて、看護師、経験職員を通して全職員で話し合い終末期の対応に取り組まれる事を期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師による指導やグループ内研修に参加しています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練の実施の他、水害についての検討、備品備蓄の確認、運営推進会議での話し合いを通しての協力体制の構築などをすすめています	防災訓練の実施と平素から火災報知器は作動するか、どのような行動をとるべきか、知識や意識を持ち防災に取り組んでいます。谷万成町内会防災マップも掲示し地域との協力体制を進めています。	異常気象や自然災害などの災害対策に、消防署の協力も得ながら地域の協力体制を築いていかれることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇やプライバシーの保護などについての研修を実施したりカンファレンスで話し合いを行っています	否定や説得をしないで笑顔で気持ちのこもった言葉かけを心掛け、プライバシーに配慮し接遇の研修など行い人格の尊重に努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	各人のペースや希望に合わせた生活が送れるように日頃から声掛けを行うようにしています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合で接しがちになるので職員は気を付けるようにし、ご本人の生活リズムを大切にするように心がけています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容の活用や希望のある方の化粧品の購入、ご自身によるその日の衣類の決定など支援しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	それぞれの方の能力を活かせるように調理や盛り付け、配膳、後片付けを一緒に行っています	安全で美味しい「食」を心掛け、業者による食材の配達のほか食材の買い物・収穫の野菜などで手作りし、調理、盛り付け、配膳、後片付け等、入居者それぞれの能力を活かせる様支援しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量チェック表を活用し、食事・水分があまり摂取できていない場合はご本人の嗜好を確認しながら支援しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケア声掛けを行い、一人では行えない方は職員がフォローしています。また、訪問歯科を活用するなど積極的に口腔ケアに取り組んでいます		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用。定期的なトイレ声掛けの実施などできる限りトイレで排泄が行えるように支援しています	習慣を大切に本人からのサインを見逃さないよう心掛け、優しく、笑顔でその人に合った声掛けでさりげなくトイレ誘導し、夜間は睡眠を妨げない様工夫しながら自立支援に取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や水分摂取に気を付け、定時のトイレ誘導、毎日の排便確認を行っています。便秘が継続するときは医師の指示を仰いでいます		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人の希望に沿った入浴が行えるように声掛けを行っています	生活習慣を大切に一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめる様心掛け、拒否のある入居者には言葉かけを工夫し、気持ちよく入浴ができる様誘導しながら同性介助で支援しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の生活習慣を大切にし、日中の休息声掛けも含め個々に対応しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師・看護師と連携を取りながら服薬支援を行い、症状の変化の確認に努めています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	張り合いのある生活が継続できるように家事などの役割を担ってもらったり、気分転換ができるように支援しています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出の回数は以前より減っていますが、近隣の散歩や買い物他、外食やドライブなども行っています	年間行事を計画し、後樂園、吉備路国分寺へ全員で(車椅子を含む)ドライブに出かけています。グループホームの近場で周りの景色を見たり、季節を感じながらの散歩、ドライブをかねてスーパーへ買い物、外食などを行い喜ばれています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に同行するなどお金を使える機会が持てるようにしています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族への電話については支援を行っています。手紙について希望があれば支援をしていきます		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安心して気持ちよく共用空間で過ごせるように配慮し、壁画などは季節を感じられるように工夫をしています	色彩豊かな折り紙でいろいろな物を折り、壁画作成、天井からは折り紙の作品をつるし季節を感じられる飾り付けがされていました。生活の場としての共用空間も感じられ、心地よく過ごせる落ち着いた雰囲気です。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	皆で楽しく過ごせる空間、一人でゆっくり過ごせる空間が持てるようにしています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が居心地良く過ごせる空間となるように工夫を行っています	思い出深い品や写真、大好きな椅子などで本人が居心地よく過ごせる様工夫しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの位置をわかりやすくするためにご入居者によるちぎり絵を貼るなどして工夫している		